

資料 - 「下水道施設の耐震対策指針と解説」(1997年版)が検討対象としている地震と新潟県中越地震との比較

地震名	マグニチュード 震源深さ	計器計測による地震動 注1), 注2)			気象庁 震度階
		最大加速度	最大速度	最大変位	
関東地震 1923.9.1	M=7.9 相模湾海底				(烈震)
新潟地震 1964.6.16	M=7.5±0.2 約40km	約190gal (新潟市内地下)			(強震)
宮城県沖地震 1978.6.12	M=7.4 約30km	約320gal (仙台市内 軟弱地盤)	約36kine (仙台市内丘陵部)	約15cm (仙台市内丘陵部)	(強震)
釧路沖地震 1993.1.15	M=7.8 約100km	約920gal (釧路地方気象台)	約61kine (釧路地方気象台)		(烈震)
兵庫県南部地震 1995.1.17	M=7.2 約14km	818gal (神戸海洋気象台)	91kine (同左)	21cm (同左)	(激震)
		327gal (東神戸大橋)	91kine (同左)	49cm (同左)	
新潟県中越地震 2004.10.23	M=6.8 約13km	1715gal (K-NET 十日町)	53kine (同左)		(激震)
		1317gal (K-NET 小千谷)	128kine (同左)		

注1) 上表は(社)日本下水道協会「下水道の地震対策についての検討報告書(概要)」(平成9年8月)に記載の表に、釧路沖地震と新潟県中越地震を追記したものである。

注2) 釧路沖地震は岐阜大学地震工学研究室 HP (<http://www.civil.gifu-u.ac.jp/lab/ed2>) を、新潟県中越地震は京都大学防災研究所および防災科学技術研究所強震ネットワークのデータ (<http://www.kyoshin.bosai.go.jp/k-net/>) を参考とした。

新潟県中越地震において震度5弱以上を観測した地震

(10月23日17時56分～11月10日05時暫定値)

気象庁報道発表資料より抜粋

期 間	北緯	東経	マグニチュード	深さ (km)	最大震度
10月23日 17:56	37°17.4	138°52.2	6.8	13	7
10月23日 17:59	37°18.6	138°51.5	5.3	16	5強
10月23日 18:03	37°21.1	138°59.2	6.3	9	5強
10月23日 18:07	37°20.7	138°52.1	5.7	15	5強
10月23日 18:11	37°15.0	138°50.0	6.0	12	6強
10月23日 18:34	37°18.2	138°56.0	6.5	14	6強
10月23日 18:36	37°15.2	138°56.7	5.1	7	5弱
10月23日 18:57	37°12.2	138°52.0	5.3	8	5強
10月23日 19:36	37°12.8	138°49.7	5.3	11	5弱
10月23日 19:45	37°17.6	138°52.8	5.7	12	6弱
10月23日 19:48	37°17.7	138°50.4	4.4	14	5弱
10月24日 14:21	37°14.5	138°49.8	5.0	11	5強
10月25日 0:28	37°12.0	138°52.4	5.3	10	5弱
10月25日 6:04	37°19.6	138°52.7	5.8	15	5強
10月27日 10:40	37°17.3	139°02.2	6.1	12	6弱
11月4日 8:57	37°25.6	138°55.1	5.2	18	5強
11月8日 11:15	37°23.5	139°02.1	5.9	ごく浅い	5強
11月10日 3:43	37°21.9	139°00.2	5.3	5	5弱